



おはなしと音楽で育む心 親と子のつどい

親子と一緒に楽しむ親と子のつどいが2月26日(水)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

これは、小学校入学前に子どもや親同士が交流を深めるため、毎年行われているもので、33組の親子66人が集まり、大型紙芝居や音楽を使ったゲームを楽しんだり、人形劇を鑑賞したりしました。

このうち、音楽や歌のリズムにあわせて親子で手を合わせるゲームでは、子どもたちの賑やかな笑い声が会場に響いていました。参加した保護者は「親子で一緒に楽しむことができて、とても良いイベントだと思います。」などと話していました。



あたたかい福祉のまちづくり いきいき大石田福祉のつどい

いきいき大石田福祉のつどいが2月23日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

開会行事では社会福祉活動に尽力された方々への町社会福祉協議会会長表彰が行われ老人クラブなどの団体や個人などが表彰を受けました。

その後「いきいき発表会」が行われ、大正琴や合唱、ダンスに民謡など、さまざまな芸術団体や福祉ボランティアの会などが趣向を凝らした出し物を次々と披露し、会場を盛り上げていました。

また、虹のプラザでは、手芸作品や絵画、竹細工などの作品のほか、健康推進員による活動報告や保健師による健康相談などの健康体験コーナーが設けられました。また、食生活改善推進員連絡協議会による家庭備蓄品の試食会などが行われ、多くの人で会場は賑わっていました。



正しい食事を考える 基礎から学べる！栄養教室

自分の食事を考える基礎から学べる！栄養教室が、1月30日(木)と2月13日(木)の2日間虹のプラザ「調理室」で行われました。1回目の講座は、カロリー計算と食事バランスの整え方について考える座学が行われ、2回目の講座は、グループに分かれ豆腐入りハンバーグやほうれん草としめじの磯和えなどバランスの良い食事を実際に調理しました。

参加した、小関栄子さんは「栄養を考えて自分の食生活を見直すきっかけとして参加しました。これからは食事に気を付けてみたいと思います。」と話していました。



目からうろこの 野菜づくりのコツ学ぶ

春から始められる野菜づくりのコツの講座が2月21日(金)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。

講師には、町立図書館にも置かれている月刊誌「現代農業」を発行している一般社団法人農山漁村文化協会東北支部櫻井歓太郎さんをお迎えし、参加者はトマトやジャガイモの失敗しにくい植え方など野菜づくりのコツを学んでいました。

最後に行われた質疑応答では、参加者は、具体的な土の作り方など自分自身の悩みを相談していました。



交通安全の約束わすれないでね もしかクラブ修了式

もしかクラブ修了式が2月26日(水)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

今年度のもしかクラブでは、道路を安全に渡るための「ストップのお約束」や、ダミー人形の「とびたくん」を使った車との衝突実験などを行い、園児たちは、たくさんの交通ルールやシートベルト着用の大切さなどを学びました。

園児たちは、大きく返事をしながら、修了証を受けとっていました。

今後も交通安全のお約束をしっかり守って、交通安全に気を付けましょう。



琴の魅力を授業で発見 南小児童が和琴を体験

和琴の出前学習が、2月7日(金)に南小で行われ、5年生児童7人が参加しました。

これは、「琴音サークル」(永登節子代表)の協力で行われたものです。

この日は、「さくらさくら」を演奏し、教室には琴の華やかな音色が響き渡っていました。授業の最後には児童が琴の演奏に挑戦しました。児童は、初めて触れる琴に苦戦しながらも、楽しそうに演奏していました。

齋藤結月さんは、「琴の音がきれいだと思った。やってみると楽しかったですが、弦を弾くのが難しかった」と話していました。